

平成25年行政事業レビューシート

(厚生労働省)

事業名	国連・障害者の十年記念施設整備費等		担当部局庁	社会・援護局 障害保健福祉部		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成26年度		担当課室	企画課 自立支援振興室		君島 淳二		
会計区分	一般会計		政策・施策名	国連・障害者の十年記念施設(国際障害者交流センター)は、障害者の生活の場、働く場や地域における支援体制を整備すること				
根拠法令(具体的な条項も記載)	-		関係する計画、通知等	-				
事業の目的(目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	国連・障害者の十年記念施設(国際障害者交流センター)は、障害者の交流事業、障害者の芸術・文化発展の取組み、災害時の後方支援等の機能により、障害者の社会参加を促進する施設として国が設置している施設であり、その適切な施設運営・管理を図ることを目的とする。							
事業概要(5行程度以内。別添可)	当該施設は、建設(平成13年9月開設)から10年以上経過し、屋上防水箇所及び外壁塗装箇所の劣化が著しく、風雨時に雨漏れが発生している状況にあり、今後の施設運営に多大な影響を生じかねない状況となっていることから、障害者の社会参加の促進に資する施設、大規模災害時の拠点施設として、その適切な施設運営・管理を図るため、早急に大規模改修工事を行う。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額(単位:百万円)	予算の状況	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
		当初予算				54		
		補正予算						
		繰越し等						
	計				54			
	執行額							
執行率(%)								
成果目標及び成果実績(アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値(年度)	
	本事業は、障害者の交流事業、障害者の芸術・文化発展の取組み、災害時の後方支援等の機能により、障害者の社会参加を促進する施設の改修工事であり、特定の効果や実績を数値で定量的に示すことは困難である。	成果実績			-	-	-	-
		達成度	%		-	-	-	
活動指標及び活動実績(アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	整備事業数	活動実績(当初見込み)						
単位当たりコスト	-		算出根拠	施設整備に係るコストは、整備内容によって異なるため、単位当たりのコストの算出は困難である。				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	施設施工旅費		0.5	26年度新規要求				
	施設施工庁費		5.5					
	国連・障害者の十年記念施設整備費		48					
	計		54					

事業所管部局による点検						
	項目			評価	評価に関する説明	
	国 必 費 投 入 の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。			○	国連・障害者の十年記念施設(国際障害者交流センター)は、障害者の交流事業、障害者の芸術・文化発展の取組み、災害時の後方支援等の機能により、障害者の社会参加を促進する施設として国が設置している施設であり、その適切な施設運営・管理を図るため、国費の投入は必要である。
地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。			○	国連・障害者の十年記念施設(国際障害者交流センター)は、障害者の交流事業、障害者の芸術・文化発展の取組み、災害時の後方支援等の機能により、障害者の社会参加を促進する施設として国が設置している施設であり、その適切な施設運営・管理は国が実施すべきもの。		
明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。			○	障害者の国際交流機能、重度・重複障害者を含む全ての障害者の交流機能、芸術・文化の発信機能、大規模災害時の後方支援機能を有する施設として、障害者の社会参加を促進するため、近年益々施設の重要性は増しており、早急な改修が望まれており、優先度は高い。		
事 業 の 効 率 性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。			—		
	受益者との負担関係は妥当であるか。			—		
	単位当たりコストの水準は妥当か。			—		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。			—		
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。			—		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)			—		
事 業 の 有 効 性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。			—		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。			—		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。			—		
重 複 排 除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)			—		
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	—					
外部有識者の所見						
点検対象外						
行政事業レビュー推進チームの所見						
—	本事業は、障害者の社会参加の促進及び大規模災害時の拠点施設に係る大規模改修を行うための経費であり、必要性の観点から優先度の高い事業である。					
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
—	—					
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	—	平成23年	—	平成24年	—

※平成26年度新規要求案件のため、イメージ

資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を  
しているかにつ  
いて補足する)  
(単位:百万  
円)

厚生労働省

- ・施設施工旅費:0.5百万円
- ・施設施工庁費:5.5百万円
- ・整備費 :48百万円

(注)計数は端数処理(四捨五入)している。

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

A.			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
B.			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0